

下都賀管内水稻技術資料 No.1

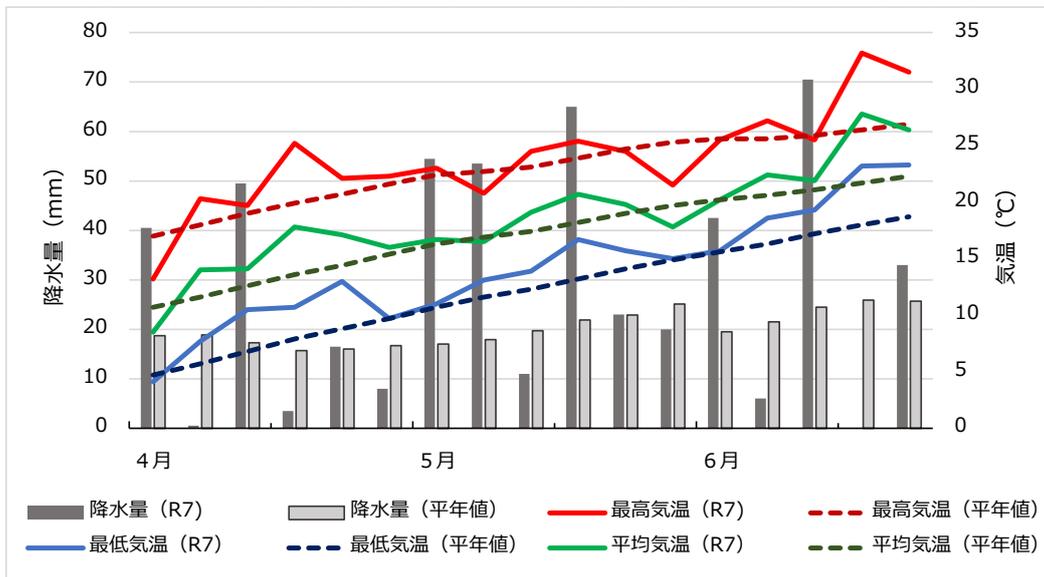
令和7年6月30日
下都賀農業振興事務所

重点ポイント

- ① 早植えは間断かん水を継続しましょう！
- ② 不稔予防に出穂期防除は必ず行いましょう！
- ③ 普通植えは茎数が確保されたら、間断かん水へ！

1 気象の経過

6月は前年と比べて気温が高い日が続きました。
関東地方は6月10日に梅雨入りをしました（平年より3日遅く、昨年より11日早い）。



※小山アメダス

2 気象庁の1か月予報（6月26日発表）

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	関東甲信地方	向こう1か月 06/28~07/27	10 (低) 10 (平) 80 (高)
		1週目 06/28~07/04	10 (低) 10 (平) 80 (高)
		2週目 07/05~07/11	10 (低) 10 (平) 80 (高)
		3~4週目 07/12~07/25	10 (低) 20 (平) 70 (高)
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 06/28~07/27	40 (低) 40 (平) 20 (高)
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 06/28~07/27	20 (低) 30 (平) 50 (高)

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

気温は平年よりも高くなる見込みまる。
前年同様、生育の早まりが予想されるまる。



3 出穂期予測

早植え・水稻生育診断ほ（5月3日移植コシヒカリ）では、幼穂は1.5mmで出穂期は7月21日と予測されました。（6月27日計測）

栃木県農業研究センターの出穂予測では、5月4日移植のコシヒカリは、下都賀管内では7月21日に出穂すると予測されます。

昨年並みに早い予測となっています。

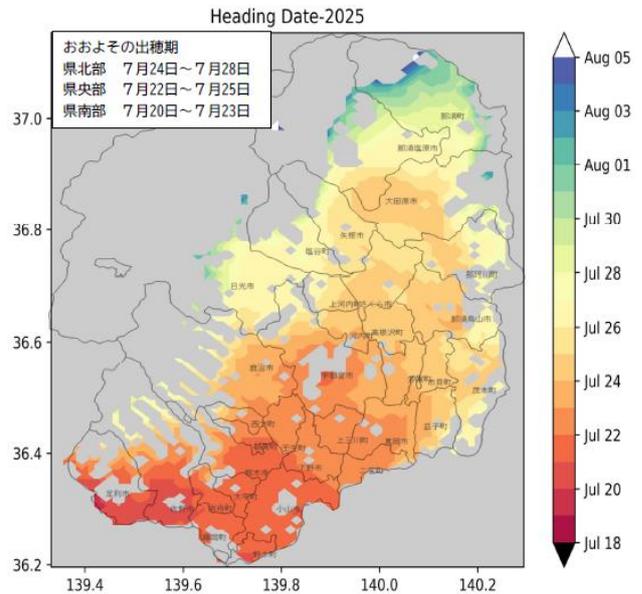


図 メッシュ農業気象データによる県内出穂期予測（農研センター計算）
5月4日移植コシヒカリを基準としてDVR法で計算（計算基準日6月24日）

4 早植え・水稻生育診断ほ（6月23日調査）の生育調査結果

- 6月23日時点では、昨年と比べ、草丈は高く、茎数は少なくなりました。
- 茎数が少ないため、葉色は濃くなりました。葉齢は同程度でした。

表1 水稻生育診断ほ（小山市鏡）の生育調査結果

品種：コシヒカリ 移植日：5月3日	本年 (6月23日調査)	昨年
草丈(cm)	70.5	61.8
茎数(本/m ²)	603	749
葉 齢	10.2	10.4
葉色(葉色板)	4.1	3.6
生育診断値(葉色×茎数)	2,447	2,723



写真1 生育の様子

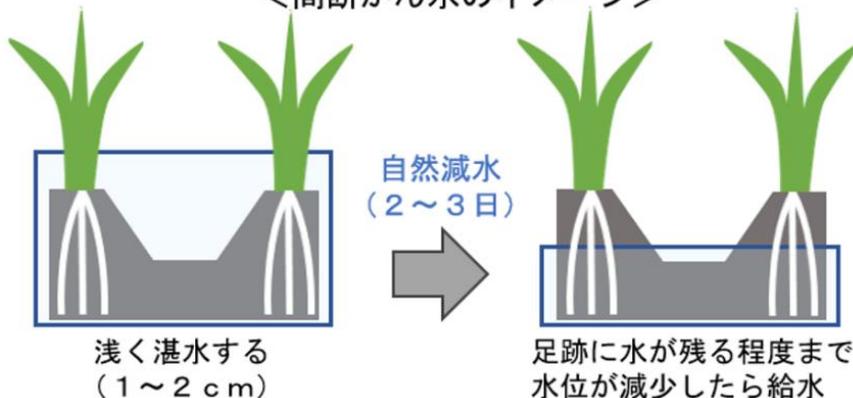
(6月23日撮影)

5 早植えの栽培管理

◎水管理

- 間断かん水を継続し、根の活力向上に努め葉色の低下を防ぎましょう。
- **出穂期は最も水を必要とする時期です。** 不足しないように注意しましょう。
- 早期落水は絶対に行わないようにしましょう。（落水時期：出穂30日後以降）

<間断かん水のイメージ>



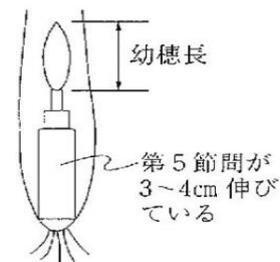
◎追肥

- ・追肥時期の目安は、「コシヒカリ」出穂 15 日前（幼穂長 2cm）、「とちぎの星」出穂 18 日前（幼穂長 8mm）です。（緩効性肥料 N 3kg/10a 程度）



写真2 幼穂5mm(出穂20日前)

カッターナイフで縦割りした図



出典：「安心イネづくり」p66(農文協)

～出穂前日数の確認の仕方～

- ①平均的な生育の株を探します。
- ②草丈の最も高い茎 1 本を根をつけたまま取ります。
- ③左図のように、カッターナイフ等で稲の茎を縦割ります。
- ④幼穂の長さを確認し、穂肥の施用時期を確認します。

例えば、幼穂の長さが

5mm の場合、出穂前約 20 日

8mm の場合、出穂前約 18 日

20mm の場合、出穂前約 15 日

80mm の場合、出穂前約 10 日、となります。

生育のバラツキを考え、5 株程度、幼穂の長さを確認してみましょう。

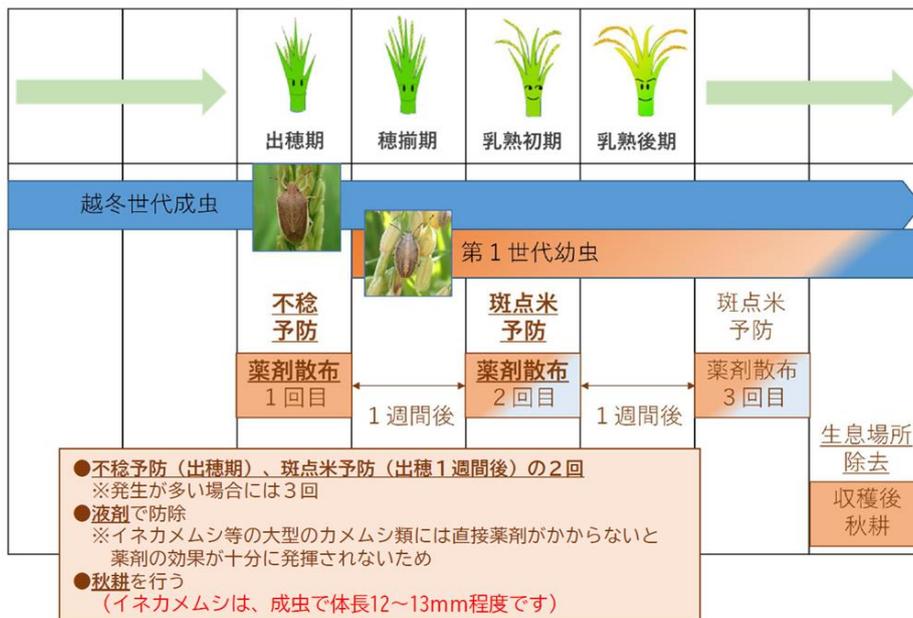
◎高温対策

- ・出穂後 20 日の平均気温が 27℃を超える高温年の場合、出穂期から穂揃期の葉色が薄い場合は**白未熟粒**が発生しやすくなります。品質を低下させないために、**走り穂が出る頃の止葉葉色が、SPAD 値で 34 以下、葉色板で 3 を下回って**いれば、速効性の窒素肥料で 2kg/10a 程度の追肥を行いましょう。

◎カメムシ対策

- ・不稔予防には出穂期防除が重要です。

※出穂期：4～5割の穂が出た時期



斑点米カメムシ対策として、水田周辺の草刈りは①水稻の出穂 2～3 週間前、②出穂期頃の 2 回行うとイネ科雑草の子実が作られないので効果的です。（2 回除草ができない場合は、**出穂期 10 日前まで**に除草をすませましょう！）

◎稲こうじ病

- ・前年に多発したほ場は、**出穂 10 日前まで**に効果的な薬剤を必ず散布しましょう。
防除適期（出穂 20～10 日前）を逃すと効果がみられないので注意が必要です。

6【参考】普通植・水稻生育診断ほ(栃木市皆川城内町)の生育調査結果

- ・昨年と比べ、草丈はやや高く、茎数は多くなりました。葉色と葉齢は同程度でした。

表2 水稻生育診断ほ（栃木市皆川）の生育調査結果

品種：とちぎの星 移植日：5月23日	本年 (6月23日調査)	昨年
草丈(cm)	36.5	34.5
茎数(本/m ²)	388	354
葉齢	7.7	7.8
葉色(葉色板)	4.0	4.1
生育診断値(葉色×茎数)	1,539	1,441



写真3 生育の様子

(6月23日撮影)

7 普通植の栽培管理

◎水管理

- ・茎数の少ない場合は夜間かん水、日中は浅水管理を行い、茎数を早期に確保しましょう。
必要茎数（コシヒカリ：256～272本/m²、とちぎの星：272本/m²）が確保されたら
間断かん水に移行しましょう。

◎いもち病

- ・ほ場の「取り置き苗」は、いもち病の発生源となるので早めに処分しましょう。
- ・農業総合研究センターのBLASTAMによる葉いもち感染好適条件判定結果では、6月10、11日に感染好適条件が出現しています。感染好適条件が出現した日から7～10日後（**6月17～21日頃**）に発病した可能性がありますので、ほ場を良く見回り、早期発見・早期防除に努めましょう。

◎縞葉枯病対策

- ・罹病性品種（コシヒカリ等）、抵抗性品種（あさひの夢・とちぎの星）に関わらず、縞葉枯病のウイルスを媒介するヒメトビウンカの薬剤防除を行いましょう。なお、箱施用剤を使用したほ場で本田防除を行う場合は同一系統・薬剤の連用を避けましよう。

防除適期：普通植栽培 7月上～中旬

栃木県農業防災LINEで

情報配信をしています！

友だち登録をお願いします！

LINE ID

@756bxcgu



問い合わせ先

栃木県下都賀農業振興事務所 経営普及部 農畜産課 0282-24-1101

HP <http://www.pref.tochigi.lg.jp/g54/index.html>